

トラブルを未然に防ぐヒント、 トラブル拡大を食い止めるコツが満載！

他人事ではない！
本書の54 ケース
たとえば……

- 向精神薬服用により
咬合に変化が生じた
- 患者が肺結核に罹患していた
- 矯正治療後、多数歯に脱灰を
認めた
- 急速な歯の移動にともない
歯髄の失活が生じた
- 矯正治療により上顎前歯に
歯根吸収を認めた
- 矯正治療中に顎関節症が生じた
- 下顎智歯の抜歯をしておらず、
手術が延期された
- 歯科矯正用アンカースクリュー
埋入により歯根破折した
- 海外からの転院で、治療費の
減額を要求された

など

Orthodontics

これで解決！

矯正トラブル

マウスピース型矯正、MTM、再治療等の“困った”事例に学ぶ予防と対処法

Treatment

編著
末石研二
野嶋邦彦
片田英憲

著
岩田直晃
小坂竜也
末石倫大
西井 康
根津 崇
福本恵吾



QUINTESSENCE PUBLISHING

クインテッセンス出版株式会社

〔編著〕

末石研二 / 野嶋邦彦 / 片田英憲

〔著〕

岩田直晃 / 小坂竜也 / 末石倫大
西井 康 / 根津 崇 / 福本恵吾

注意すべき典型例から想定外のものまで、54の矯正トラブル事例を収載。1ケースにつき2ページ程度で、「トラブル予防法」「トラブル後の望ましい対応」を、裏付けとともに多数の写真でわかりやすく解説。また、医療者を守るための記録の付け方や、裁判例に学ぶトラブル予防のヒントなど、弁護士からの実用的なアドバイスもあり。マウスピース型矯正から本格矯正、外科的矯正治療まで、あらゆる矯正歯科臨床必携の1冊。

QUINTESSENCE PUBLISHING
日本

●サイズ:A4判変型 ●192ページ ●定価11,000円(本体10,000円+税10%)

クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <https://www.quint-j.co.jp> e-mail mb@quint-j.co.jp



どんなトラブルが
現場で起きるのかを知るだけでも
予防線がはれます！

見開き 2 ページを
基本としたレイアウト

多数の写真を用いた
解説で、わかりやすい!

これは
困った!!

case

11 急速な歯の移動にともない
歯髄の失活が生じた

11a

11b

11c

11d

初診時、上顎歯列の状況、大歯の低位唇側傾斜を認める。

マルチブラケットによる前歯部レベリング、クワドヘリックスによる上顎歯列拡大(1,2)の要否を認める。

アライナーや歯列矯正用咬合誘導装置など、マウスピース型矯正に関するトラブルも収載

これは
画った!!

CASE
30 前歯のアタッチメントが目立つと
言われた

図1は、患者の顎のレントゲン写真（パノラマ撮影）を示している。左側の写真（a）は治療前の状態を示し、右側の写真（b）は治療後の状態を示している。写真（a）には、右側の顎（患者の右側）に大きな黒い影（病変）があり、白い矢印で示されている。写真（b）には、顎の骨の輪郭が白い線で描かれ、治療後の状態が確認できる。写真（b）には、顎の骨の輪郭が白い線で描かれ、治療後の状態が確認できる。

chapter 5 機能的問題症例に学ぶ

18 咬頭嵌合位と中心位に大きな差があった

[illegible]

④ 問題発生状況

しかし咬合装置合位では顎の推知感が強く、咬合時に力が入りにくいと訴えがあったため、中心位を確認したところ、咬合に大きな変化を認めた。大口開閉は1歳となり、前歯部では開咬を呈した。

● 問題発生したところに対する対応

咬合装置合位と中心位における咬合に大きな差がある二重咬合を確認し、中心位において顎位合の傾斜位置を診査した。治療計画としては4:1は抜歯を行い、前歯部開咬と臼歯咬合の安定化を図った。装置脱却前に咬合装置合位と中心位の咬合が一致したことを確認し、治療を終了した。

Part 3
これは困った！問題を例へ予防＆その後の対応法！

歯科医療従事者を守る、
弁護士からのアドバイス
は必見！

chapter 3
こんな対応に気をつけて!
法律家からのアドバイス
case 06 [反対陪審]

「成長とともに再発した」

不慣れを覚かしてしまっただけで、は、第一期治療が無意味であったのでは、ないとの懸念を覚かしてはいない。当初の診断が誤りであったのではない

が、説明が不十分だったのでないかなとの過言がなされる可能性がある。そのため、どのような診断に基づき、どのような説明を行ったのか、振り返ることができるよう診断記録とすることが望ましいと考える。

石森倫大(弁護士)

Case
07
に關して

「成長により前歯が歪み」

矯正治療によって顔面の非対称が生じたとの患者代議士がある。張り返す

化していったようであった(本症例に類似のケースと思われる)。トナリさんが生じた際には、あらかじめ、初診時から画像を比較検討することになる。画像検査の記録の大切さを強調しておきたい。

きりとり線

これで解決！矯正トラブル マウスピース型矯正、MTM、再治療等の“困った”事例に学ぶ予防と対処法

モリタ商品コード:208040830

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。